

第1回構造分科会議事録

1. 日時：平成14年3月8日(金) 13:30~15:30

2. 場所：(社)日本電気協会 4階 A, B, C会議室

3. 出席者：(敬称略, 順不同)

出席委員：富松(三菱重工業), 米田(北陸電力), 樋口(日本原電), 本陣(東京電力), 山田(中部電力), 秋本(原子力発電技術機構), 鹿島(電力中央研究所), 柴田・鈴木雅秀(日本原子力研究所), 島田(海上技術安全研究所), 山下(核燃料サイクル機構), 小林(東工大)(計12名)

代理出席：高橋(正昭)(富士電機・小林代理), 古川(日立製作所・佐川代理), 大坪(東芝・前川代理), 平野(IHI・岸田代理), 岡村(電源開発・川尻代理), 中村(関西電力・酒井代理), 小柴(中国電力・西本代理), 橋本(九州電力・水繰代理), 高橋(昭良)(北海道電力・吉野代理), 藤浦(発電技研・安藤代理), 大澤(青山学院大学・小川代理)(計11名)

欠席委員：佐久間(東北電力), 梶原(四国電力), 鈴木公明(日本製鋼所), 酒井(東京大学), 庄子(東北大学)(計5名)

常時参加：安藤(東京大学名誉教授), 小倉(横浜国立大学名誉教授), 森中(関西電力), 稲垣(東京電力)(計4名)

事務局：堀江・小宮・国則・平田・福原(日本電気協会)

4. 配付資料

資料 No.1-1 原子力規格委員会活動経緯について

資料 No.1-2 構造分科会における規格改廃要否及び平成13年度活動実績, 平成14年度活動計画案について

資料 No.1-3 原子力規格委員会 規格策定基本方針

5. 議事

(1) 会議定足数の確認

事務局から, 委員総数28名に対し, 本日の委員出席者数23名で, 会議開催条件の「委員総数の2/3の出席」を満たしていることの報告があった。

(2) 原子力規格委員会活動経緯について

資料 No.1-1 に基づき, 事務局より原子力規格委員会の発足以降の活動状況, 及び委員会規約等について説明が行われた。

(3) 分科会長の選任及び幹事の指名

樋口委員より、分科会規約第 4 条に基づき、分科会長候補者として小林委員(東工大) の推薦があり、他に分科会長候補者の推薦がないことを確認した後、単記無記名投票を行った結果、投票委員総数 2 2 名に対し、小林委員への投票数 2 1 票、白票 1 票で、小林委員が分科会長に選任された。

また、小林分科会長より、構造分科会幹事として、本陣委員(東京電力) が指名された。

(4) 構造分科会新規委員追加の件

安藤先生(東京大学名誉教授・常時参加者) より、学識経験者として原子炉の構造に詳しい吉村 忍先生(東京大学 新領域創成学科) 及び非破壊検査関係に詳しい大岡紀一氏(日本原子力研究所 大洗研究所) の 2 名を構造分科会委員として新規追加することについて発言があった。

審議の結果、今後、事務局より両氏に対し構造分科会委員への参加の意向を確認し、参加の意向確認後、書面投票により分科会の方針を決定し、委員参加が決定されれば次次回原子力規格委員会に提案することとなった。

(5) 構造分科会における規格改廃要否の検討及び平成 13 年度活動実績、平成 14 年度活動計画の審議

資料 No.1-2 に基づき、事務局より題記について説明が行われ、審議の結果、下記の変更を加えた上で、第 5 回原子力規格委員会に上申することで、賛成 2 3 票、反対 0 票で決議された。

a . JEAC4202-1991 フェライト鋼の落重試験方法

(変更箇所) 改廃要否欄 : 「改定不要」 「改定要否の検討」

(変更理由) 規格制定以降、長い期間が経過しているため、内容について改定要否を検討することが必要である。

b . JEAG4207-2000 軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験指針

(変更箇所) 改廃要否欄 : 「改定不要」 「改定要否の検討」

(変更理由) TOFD , サイジング技術の導入可否を検討する必要がある。

また、今後制定する必要がある規格の有無について分科会委員にアンケート調査を行うこととなった。(手続きは事務局にて対応する。)

(6) 原子力規格委員会 規格策定基本方針について

資料 No.1-3 に基づき、事務局より題記について紹介が行われた。主な質問は下記の通り。

(質問事項)

構造分科会における従来の検討会については、現行規約、基本方針に定めがなく、現在非公開で活動を続けているが、民間規格作成団体としては、公開で行うことが必要となるのではないか。

以上の件について、基本方針策定タスク（主査：班目委員（東京大学））で現在検討が行われている旨の説明が事務局よりなされ、その検討結果を待つこととなった。

（ 7 ） その他

第 2 回構造分科会開催日について、6月4日（火）又は6月5日（水）のうち、本日欠席している委員の都合を事務局にて確認し、参加委員の多い日程で開催することとなった。

以 上